

令和7年司法試験
琉球大学大学院法務研究科
教員応援メッセージ

小林 祐紀（憲法）

試験当日は焦りや不安もあるかもしれませんが、目の前の問題は既に皆さんが必ず学んできた内容です。落ち着いて、問題文にある事実の拾い忘れに注意して、実力を出し切ってきてください。

吉田 英男（民事訴訟法）

受験勉強お疲れ様です。直前に体調を崩したりしないよう、健康に気をつけて下さい。ご健闘をお祈りいたします。

武田 昌則（民法）

本年度の司法試験を受験する皆さんには、YOASOBI の「[群青 / THE FIRST TAKE](#)」をお届けします。司法試験受験生をテーマにした歌ではありませんが、「嗚呼何回でも ほら何回でも 積み上げてきたことが武器になる」司法試験に向けて頑張ってこられた皆さんの心に刺さるフレーズがあると思いませんか？ 歌い始める前の Ikura さんの緊張感、伝わってきますね。ただ、その日がきたらもう、「大丈夫、行こう 後は楽しみだけだ」そして、頑張った皆さんには、Ayase さんのように「全力で挑んだパフォーマンス、その瞬間を皆さんと共有できて本当に嬉しいです。」とお伝えするつもりです。

西山 千絵（憲法）

この1年間、頑張れたという人も、頑張りがれなかったという人も、いると思います。どちらであったとしても、大切な修了生、3年生の皆さんのことを応援しています。皆さんの夢がかないますように。

宮城 哲（民法）

琉球大学法科大学院の修了生は司法試験に合格できる力は十分持っています。大切なのは、絶対に合格するという強い気持ちとどうやって合格点をとるかという冷静な戦略です。これから本番に向けて次のことに気をつけてください。①絶対合格するという強い気持ちを持ち、試験前や試験中に何が起ころうがそれを言い訳にせず、最後まで合格をあきらめず全力を尽くしてください。②本番で失敗はつきものです。多少失敗しても合格できるので、ミスを引きずらず、すぐに切り換えて次やるべきことに集中しましょう。③論文式試験は、まずは問いに答えることが大切です。考えたことのない問題や難しい問題も出ます。しかし、それは応用力を試しているのもあって、知らないのは当然であり、正しい答えもありません。問題文をよく読み、問いに答える過程で、問題となっている条文・判例等の基礎的知識があることを簡潔に示しつつ、応用問題では事案に即した悩みをみせて条文や判例の趣旨から法律家らしい一応の思考ができることを示せば十分合格できます。とにかく条文と事実を重視し、問いに答えることが大切ですので、そのことを忘れないようにしてください。④短答式試験は、満点を取る必要はないので、解らない問題に時間をかけず、解る問題を確実に正解することを心掛けるといいと思います。⑤合格の可能性を高めるためには、勉強以外のことへの配慮も重要です。感謝の気持ちをもって生活し、特に体調管理等には最善を尽くしてください。皆さんの合格を心からお祈りしています。

川澄 真樹（刑事訴訟法）

最後まで諦めず、自分を信じて頑張りましょう。基本を大切に！

白木 敦士（民法）

司法試験受験を前に、大変緊張されていることと思います。

私も、10年以上前になりますが、司法試験を受験しました。試験日が近づくにつれて気持ちが焦り、不安は増加し、ストレスフルな日々を過ごしていました。今思い返しても胸が苦しくなります。

皆さんにお伝えしたいことは、たくさんありますが、3点に絞ってお伝えさせていただきます。

第一に、「準備不足を受け入れた上で、それを力に変える」ということです。

私は、私自身も含めて、「十分な準備を終えて司法試験の受験にチャレンジできた」という合格者を誰一人知りません。傲慢な受験生は、その不安を、「しっ

たかぶり」の答案を書くことで誤魔化そうとします。

他方で、謙虚な受験生は、その不安を、「虚心坦懐に問題を読み、条文や基本的理解を出発点とする答案を書く能力に変換することができます。

「不安感」は辛い感情ですが、不安を感じることで自分を否定する必要は全くありません。皆さんの不安は、誠実な態度で試験に臨むことにより、司法試験の得点に変換され得るということを、自信を持ってお伝えします。

第二に、「受験中に、悪魔の瞬間は必ずやってくる。それを予期しておく。」ということですが。

受験中には、「どのような論点について書けば良いか分からず、逃げ出したくなる」悪魔の瞬間が必ず訪れます。

そして、この悪魔の瞬間の対応こそが、勝負どころです。問題文の事実と、事実に関連しそうな条文を、目を皿のようにして精読し、皆さんの丁寧な性格を、試験委員に示して差し上げてください。

それでも、何を書いて良いか分からない場面に出くわすかもしれません。

安心してください。

その一問で合否は決まりません。

司法試験は、総合点での勝負です。全ての科目の全ての論点で「ヒット」を打ち続けることなど幻想です。

司法試験は、全ての科目で平均点を獲得すれば、余裕を持って合格できる試験です。仮に、一つの問いで「アウト」を取られた場合でも、ネガティブな感情が湧いてくることは当然の反応です。ですが、その都度、心のハサミでしっかりと断ち切り、次の打席に臨んでください。全ての打席は独立しています。「気持ちを引きずらない」能力は、とても重要です（自分にも未だに言い聞かせています。）。

さいごに、司法試験の受験に臨む皆さんは、

「代表選手」であることを思い返していただきたいと思います。

F1では、レーシング・カーを運転するドライバーが常に脚光を浴びます。

複雑なコースを巧みなハンドル・アクセル捌きで駆け抜けていく姿は、観客を大いに魅了します。

しかしながら、F1ドライバーが、出走するに際しては、車体や部品のデザインを行う者、車体の整備を行う者、レース中に迅速にタイヤ交換を行う者など、多くのサポート・スタッフの活躍が不可欠です。

司法試験においても、ハンドル（ペン）を握るのは皆さん自身ですが、皆さん

が運転席（司法試験会場の座席）に着席するためには、皆さんを心から応援するご家族やご友人、ロースクール進学に際して推薦状を執筆してくれた方、本研究科の先生方などなど、多くの「サポート・チーム」が必要不可欠でした。司法試験の「受験開始」の号令は、出走のシグナルです。感謝の気持ちとともに、ご出走ください。

もっとも、司法試験の場合には、コースアウトせずに、丁寧にコースを走り終えることが表彰台への条件になります。奇をてらうことなく、法文と基本事項に忠実な運転を心がけてください。

皆さんの挑戦を、心から応援しております。

齋藤 実（刑法）

司法試験前のこの時間、自信に満ち溢れている人はごくわずかです。私は、ただただ不安でこの時期を過ごしました。皆さんも似たような気持ちの人が多いいと思います。しかし、不安のない人は合格しません。合格が目の前にあるからこそ、不安になるのです。

さて、皆さんに繰り返し伝えていますが、改めて、司法試験の注意点をまとめます。

① 素直に設問に答えた答案のみが合格する。

問題文を読みたいというはやる心を少し押さえて、設問を3回読んでください。司法試験に受かるのは、用意してきた論点を書く人ではありません。初めて見る設問に、分からなくても素直に答える人です。設問をオウム返しにするだけで、点数は上がります。

② 問題文は3回読みましょう。

1回目はどのような問題であるか確認しながら丁寧に読みましょう。ここで時間がかかることは全く問題になりません。その上で、答案構成をするために、もう1回読みましょう。最後に、落とした「事実」はないかの確認のため、3回目を読みましょう。事実を1つ拾うだけで、10番、激戦のレンジにいる場合には20番は順位が上がります。

③ 規範とあてはめのリンクを意識しましょう。

司法試験で問うことの1つが、規範とあてはめのリンクです。規範のキーワードは、正確に「同じ言葉」であてはめてください。このリンクは配点が高いので、丁寧にあてはめたいところです。採点者が見たい重要なポイントです。

④ あてはめは、短い文章で書くようにして、自分に都合の悪い事実も書く。

あてはめは事前の準備ができません。まずは、採点者に意味を理解してもらうことが大切です。そのためには、1文を短くしましょう。また自分の結論とは反対の結論を導く都合の悪い事実には大きな配点があります。落とさずに書きましょう。

- ⑤ 答案構成をしたら書ける枚数の確認をしましょう。

答案を書き始める前に残り時間を確認してください。この残り時間から何ページ書けるか計算しましょう（事前に1頁を何分で書けるか測っておいてください）。残り時間で予定したことが書けない場合でも、慌てずに。答案全体のボリュームを圧縮して対応しましょう。ただ、答案構成であげた項目は落とさず、キーワードだけでも書いてください。それだけでも点数が加算されます。

- ⑥ 予想外のことが起きる。

試験場では必ず予想外のことが起きます。出題形式が変わることは毎年のことです。予想外のことが起きた時、周りは慌て点差が出ます。チャンス到来です。必ず普段やってきたことに突破口があります。普通のことを淡々とすれば、自然と良い答案が書けています。

司法試験は、不安である一方で、人生最高のチャンスが目の前にあります。プレッシャーに押しつぶされそうかもしれませんが、司法試験は人生最高のチャンスを与えてくれる場でもあります。今、大きな可能性が皆さんの目の前にあることをもう一度思い出してください。

司法試験の合否を左右する8割はメンタル。負けたくなかったら、強い心をもつ。誰のためではなく、ただ自分のために、自分の人生を切り開いてください。勝利を掴んで！！